

## 「面白い授業を作るために」

杉下 絵里華

### ◎「面白い」とは

#### <辞書的な定義>

- ・魅力ある物事に心が明るみ、目の前がぱっと開けて晴れ晴れとした状態
- ・心が惹かれて興味深い
- ・こっけいだ、おかしい

#### <私が考える定義>

- ・感情が揺り動かされること(感動する、驚く、泣ける、腹が立つ等)
- ・そこに何か新しい発見があること
- ・今まで常識だと思っていたことが覆されること

いくら腕のいいシェフでも、腐った魚で料理をしたら美味しくならない  
しかし、新鮮な魚で料理をすれば、凡人でもそれなりに美味しい料理ができる

※有田和正先生の言葉より



素材(教材)がよければベテランでなくても面白い授業はできる

### ◎ネタ開発のノウハウ

#### <人間の五感の働き具合>

視覚	最高60%	嗅覚	8%	触覚	5%
聴覚	20%	味覚	7%		

視覚は聴覚の

3倍強い!!

→視覚に訴えるネタを準備すると良い

#### <ネタ作りで大事にしたいこと>

- ①具体的で、目に見えるものであること
- ②面白い内容のつまった絵や図を準備すること
- ③どこか欠けたところや落とし穴のあること

その他子どもを熱中させるもの：大きなもの、大量なもの、数字

#### <これから気を付けたいこと>

★普段の何気ない生活に目を光らせ、「はてな？」を探す

旅行等で知らない土地へ行ったら、良いネタになりそうなものがないか探す

参考：『ネタ開発のノウハウを身につけよ』 有田和正先生著